



# 科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)  
<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

## 天文シリーズ

～全天で一番明るく輝く恒星～

# シリウス

姫路科学館 学芸員 小関 高明

12月中旬の姫路では、おおいぬ座のシリウスは午後8時ごろ東から昇ってきます。シリウスが昇ってくると図1のように、りゅうこつ座のカノープスを除く冬の7個の1等星が出揃います。この中で一番明るくて良く目立つシリウスについて紹介します。

### ■ シリウスの明るさ

シリウスの名前の由来はギリシャ語で「焼き焦がすもの」を意味する「セイリオス」からきていると言われていています。名前のおりとても明るく、実視等級は、太陽をのぞく恒星のなかで一番明るく $-1.44$ 等です。これは2番目に明るいカノープスの2倍、3番目に明るいケンタウルス座の $\alpha$ 星（姫路からは見られない）の3倍も明るく、良く晴れた郊外の理想的な空の下で肉眼でやっと見える6.5等星に比べると1,600倍も明るいのです。

### ■ 距離と絶対等級

それではシリウスの実際の明るさはどうなのでしょう。同じ明るさの星でも遠く離れると暗く見えます。星の実際の明るさを比べるには同じ距離から見た明るさで比べなければなりません。10パーセク（32.6光年）の距離から見た場合の明るさを絶対等級といい、シリウスの絶対等級は1.45等になります。太陽の絶対等級は4.85等、プロキオンは2.68等なのでシリウスはこれらの星よりも実際に明るいのですが、ベテルギウス（ $-7$ 等）、

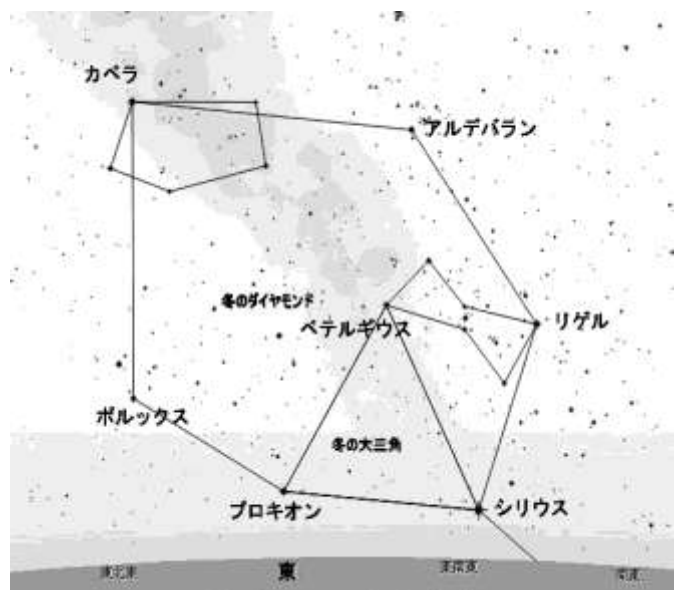


図1 12月中旬、20時30分ごろの姫路の東

